

堺市各がん検診の流れ

堺市健康医療推進課
西本 夕紀



がん検診について

検診名	対象者	実施場所	検査の内容	自己負担額
胃がん	40歳以上の市民	保健センター、地域会館等	胃部エックス線間接撮影	500円
肺がん	40歳以上の市民		胸部エックス線直接撮影 たんの検査	胸部エックス線 無料 たんの検査 400円
子宮がん	20歳以上の偶数年齢の市民(女性のみ)	市内協力医療機関	子宮頸部の細胞診	500円
乳がん	30歳以上40歳未満の市民(女性のみ)		視診・触診	400円
	視触診受診時の年齢が40歳以上の偶数年齢の市民(女性のみ)		視診・触診・マンモグラフィ(乳房X線撮影)	900円
大腸がん	40歳以上の市民		便潜血検査(2日法)	300円
総合がん検診	40歳以上の市民		男性、奇数年齢の女性 胃、肺、大腸がん検診	男性、奇数年齢の女性 1,500円 たんの検査は別途400円
		偶数年齢の女性 胃、肺、大腸、 子宮、乳がん検診	偶数年齢の女性 2,900円 たんの検査は別途400円	

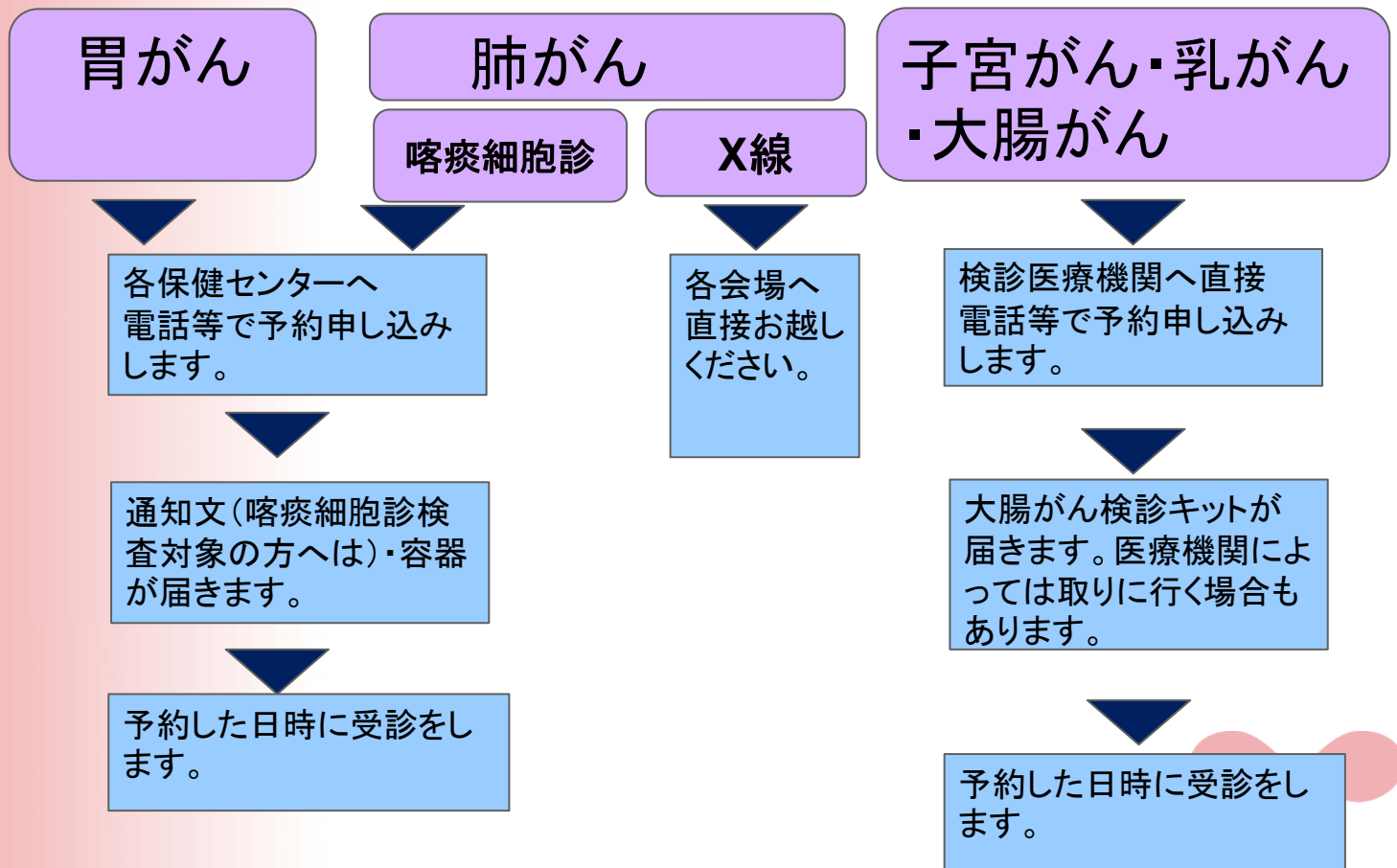
胃・肺・大腸・乳がん(30歳代)は、年度に1回。子宮・乳がん(40歳以上)は、偶数年齢時に1回。

次の方は、自己負担額が無料

(1) 満65歳以上(乳がん・子宮がん検診は66歳以上)の市民

(2) 生活保護世帯・市民税非課税世帯等に属する方(事前に保健センター等へ申請が必要)

申し込み方法



安心して検診を受けることができます
よう、がん検診の申し込み後の各がん
検診の流れについてお話しします



がん検診に行くまでに準備しておくこと

持ち物

- ・氏名、年齢、住所がわかるもの（保険証
免許証など）、検診通知文
- ・喀痰検査、大腸がん検査キットといった
提出物については説明書をお読みになり、
当日ご持参ください



会場に来られたら・・・

各区・各医療機関案内に従い
受付にお越しく下さい

さて、検診の流れをご説明
いたします



保健センターでの胃がん検診

検診受診日の2週間ほど前に、日程・注意等についてのお手紙が届きます。
内容をよくお読みになり当日お越してください

検査前日

- ・ 飲食は、前日の午後8～10時までに済ませてください
(消化の悪い食事は8時までにお済ませください)
- ・ 深酒・夜更かしなどはしないでください

検査当日

- ・ 食事・水・薬・その他の飲料物を取らないでください
(服薬中の方は、かかりつけ医に相談してください)



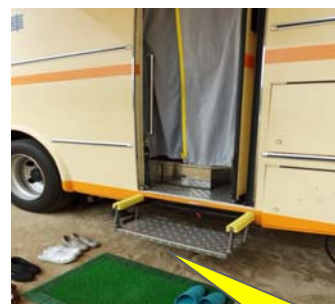
胃がん検診(当日)

検査の流れ

40歳上の市民が受診できます。



下着を脱いで検査着に着替えます



約20cmほどのステップが4段あります。



胃がん検診(当日)

検査の流れ

胃を膨らませるため発砲剤を飲みます



げっぷをしないようにしてください

バリウム(白いドローとした液体)200mlを、数回にわけて飲みます



放射線管理区域では、おひとりになります。

検診台に乗ります。検査台が倒れますので、手すりを持ってください



撮影するときに、胃が動かないように息止めの合図があります

バリウムが胃の壁によく付くように検査台の上で、ごろんごろんと廻ってもらいます。検査技師が声をかけますので、その指示を聞いて下さい



頭が下となる体位をとることがあります。(滑り落ちないように、肩あてを使用します)

医療機関でのがん検診では、体位が不安な場合は、検査技師がお手伝します。(相談をしてください)



検診車は、補助員は放射線管理区域に入れません。



胃がん検診(検査後のお知らせ)

検査後

- お渡しする下剤をコップ2杯以上の水で飲んでください。
(一袋に2錠入っています)
 - 便秘気味の方は、問診看護師にご相談ください。
 - 夕方4時ごろまでにバリウム便(白い便)が出ない場合は、下剤をもう1~2錠飲んでください。
- 白い便が出て、元の便に戻るまで 多くの水分を取ってください

結果

- 検診後1か月ほどで文書にて通知します。

受けることができない方

- 妊娠中や妊娠の疑いのある方
- 一部の疾患治療中・経過観察中の方および金属アレルギーのある方は主治医にご相談ください



肺がん検診(申し込み)

検診当日に直接会場にお越してください。
(申し込みは不要です)

たん検査の対象者は、事前に各保健センターにお申し込みください

喫煙指数I(タバコ1日本数×喫煙年数)=400以上の方または、
6か月以内に血の混じった痰が出た人

保健センターに予約した後、容器と説明書が郵送されます。



喀痰細胞診(痰検査のときかた)

保健センターに予約後、容器と説明書が郵送されます。

喉の奥にある痰を採取して検査します。
毎朝起きたときに自分で専用容器に痰を取ることを3日間行います。
(検査日を含めた3日前からのたんを採ります。)

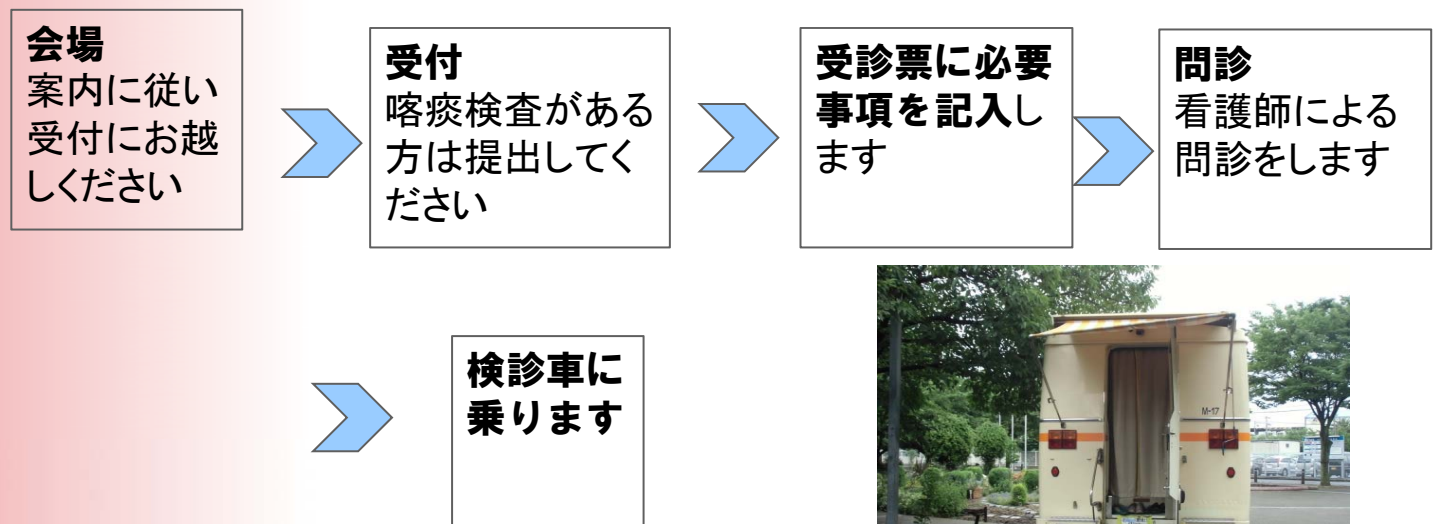
- ①朝起きてから何かを食べる前に採取します。
- ②口内を水でゆすいで、きれいな状態にします。
- ③咳払いをしたりするなど、痰を排出します。
- ④痰は喀痰細胞診専用の容器に入れます。
- ⑤涼しい場所に容器を保管して、3日間続けます。



肺がん検診(当日)

検査の流れ

40歳以上の市民が受診できます。



・X線撮影 レントゲンの台の前で、「胸が開いた」姿勢に整えます。手を当てて肘を出した姿勢(下の写真)、または、前の手すりを持った姿勢(右の写真)になります。



姿勢が整ったら、撮影をします。撮影する技師が、「息をすって止める」もしくは「息を吐いて止める」の声をかけます。

肌着一枚になります。金具・プラスチック類・シップ・カイロは外してください。長い髪の方は上のほうで束ねてください

注意: エックス線検査は妊娠またはその可能性のある方は受診できません。



聞こえにくい方はお申し出ください。

検査技師が、「息をすって止める」「息を吐いて止める」の声をかけに合わせ

右斜め前の、ランプが光ります。



肺がん検診

- 結果は、検診後1か月ほどで文書にて通知します。



大腸がん検診

医療機関で予約後、容器と説明書が郵送されます。（直接医療機関でもあろう場合もあります）

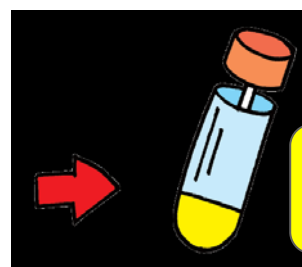
検査前、約3日前からの2日分の便を採ります。



便の採り方

- ①便器に、専用の紙またはトイレットペーパーを敷き、排せつします。
- ②専用の器具（採便棒）を使って便の表面をまんべんなくこすります。
- ③保存液の入った容器に、採便した便を入れます。

本日体験が
す



たくさん入れなくても大丈夫です



大腸がん検診(当日)

検査の流れ



結果

- 検診後1~2週間ほどで文書または医療機関にて説明されます。



乳がん検診(視触診)

- 30~39歳の方は、視触診のみをします。
- 40歳以上偶数年齢の方は、視触診とマンモグラフィをします。

検査の流れ



上半身の下着をとりま

両乳房の視触診をします



コニカミノルタ ピンクリボン運動から転用



乳がん検診(マンモグラフィ検査)

検査の流れ

視触診後、マンモグラフィ検査を予約します(視触診を受けた医療機関と別の場合があります)



診察室では下着をとり、機械に乳房を挟みます 40歳の方は2方向撮影します

マンモグラフィ検査:
乳房の位置が整ったら、撮影します

乳房を変え、検査します



息を止めて撮影します

片方ずつ、圧迫版で乳房を挟みます。痛みを感じる場合があります。
痛みを感じたときは、技師にお知らせください(あらかじめ合図を決めておきましょう)。

検査しない方の乳房を押さえておきます。

乳がん検診

・結果は、
視触診のみの場合、検診後1～2週間ほどで文書での通知または、医療機関にて説明しお返しします。

視触診+マンモグラフィ検査の場合、撮影後約1か月程度で文書での通知または、医療機関にて説明しお返しします。



子宮がん検診

・20歳以上偶数年齢以上の方が受診できます。

検査の流れ



受付



問診

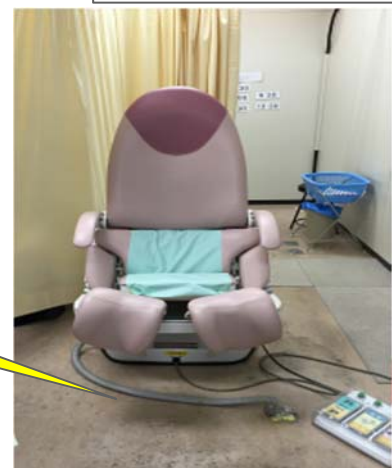


下着をとります。バスタオルをつける医療機関もあります。

検査室に入り、下着を脱いで、内診台にもたれ、座ってください

【氏名の確認】

聴力に不安のあるなどの場合は、事前にお伝えください。検査室に入る前に氏名の確認をいたします。



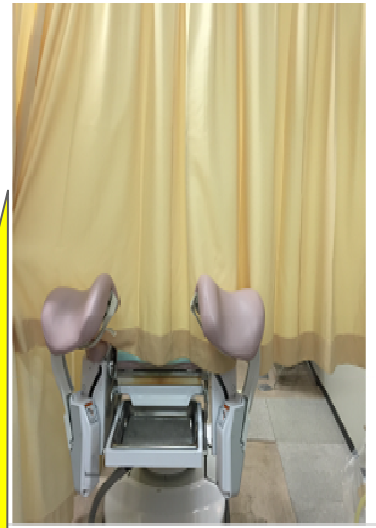


検査の時には、背もたれが倒れて、足台が左右に開きます



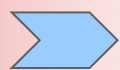
足台が左右に開きます

背もたれが後ろに倒れます



検査室には本人同意のもと補助者が入ることができます。

検査中は、顔が見えないようにカーテンが閉まっています。



視診をします

- ①陰部を洗浄します
- ②子宮の内部が見えるように、金具(クスコ腔鏡)を挿入します。
- ③状態を目で確認します。

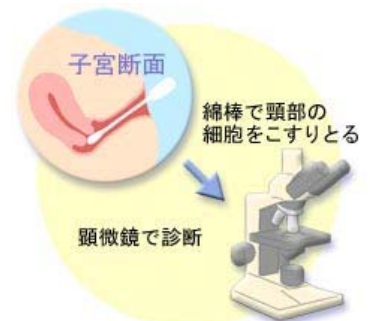


検査前に氏名の確認があります。



細胞診をします

- ①ヘラやブラシで子宮頸部をやさしくこすり細胞を採取します。



子宮がん検診

- ・ 検査後
細胞を採取の際に出血する場合があります。タンポンを入れた場合は医師から説明がありますが、忘れないようにしてください。
- ・ 結果は、検診後1～2週間ほどで文書での通知または、医療機関にて説明しお返しします。



検診についてのお問い合わせ

- ・ 検診についての不安や心配・補助等配慮に関して希望ある場合などは直接予約した機関に遠慮なくご相談ください（医療機関では配慮が可能なところがあります）
- ・ 検診後、経過観察や精密検査が必要となった場合は、医師と相談のうえ、かならず、受診をしてください。

